

令和4年度栃木県陸上競技春季大会（4/15～17開催）における
新型コロナウイルス感染対策についての反省点

1. 競技者、指導者、役員、審判員、引率教員等については、昨年までの経験、実績を踏まえ、感染対策は概ね徹底できていた。
2. 観覧者に対し、会場での体調管理チェックシートの提示を事前にWeb等で告知していたが、十分周知されていなかった。チェックシートを持参せずに来場し、スタジアム内に入場できずにお帰りいただく観覧者が少なくなかった。
3. 観覧者の座席は3階と指定し、事前告知していた。また大会当日も観客席の区別について再三アナウンスした。それにもかかわらず、2階席に移動してしまう観覧者が少なからず見受けられた。
4. スタジアム内の観覧者の中に盗撮行為の疑いがある人物がいた。
5. 観覧者の入場チェック、観客席での巡回・指導等に要する人員を確保することが困難であった。今後、記録会のような参加者（競技者、役員・審判員を含む）が少ない小規模競技会においては観覧者対応が運営人員の面で難しいと想定される。

上記反省を踏まえ当協会としては再度、安全安心な競技会の運営のため有観客競技会開催のあり方や対応方策を再度検討し、準備期間を設けるため、4月24日（日）開催予定の第2回栃木陸上競技協会記録会においては、無観客競技会とさせていただきます。

競技会の観覧を心待ちにされていた皆様には、たいへん申し訳ございませんが、全ての参加者の安全安心を確保する競技会開催に向け、当協会は今後も最善策を検討して参ります。ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。